

【Basic II】

筆記試験 <理論> 例題集 ③

(60分)

I. 次の楽譜を見て、各問に答えなさい。

1. ①～⑤のコード・ネームを書きなさい。

① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_ ③ \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_ ⑤ \_\_\_\_\_

2. A～Cの2音間の音程を答えなさい。

A \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_ C \_\_\_\_\_

3. この曲を短3度下に移調したときのKeyと調号を書きなさい。

(Key: \_\_\_\_\_ )

●コード判別と音程に関する問題です。Basic IIでは、ノン・ダイアトニック・コードを含む基本的な種類のコードについて、構成音からコード・ネームを判別できることが必要です

(正解) 1. ① Em7 ② Dm7(b5) ③ Cmaj7 ④ Fmaj7 ⑤ G7 2. A.完全5度 B.増4度 C.長6度

3. A (major)

II. 次のコード進行を例のように分析し、度数と機能を記入しなさい。

(例) Key : C major

C	F	Dm7	G7	C	
( I )	( IV )	( II m7 )	( V7 )	( I )	← 度数
( T )	( S )	( S )	( D )	( T )	← 機能

(1) Key : B<sup>b</sup> major

B <sup>b</sup> maj7	Gm7	Cm7	E <sup>b</sup> maj7	F7	
( )	( )	( )	( )	( )	~
( )	( )	( )	( )	( )	

(2) Key : G major

Cmaj7	Bm7	Em7	Am7	D7	Gmaj7	
( )	( )	( )	( )	( )	( )	~
( )	( )	( )	( )	( )	( )	

(3) Key : D minor

Dm7	B <sup>b</sup> maj7	Fmaj7	Gm7	Em7( <sup>b</sup> 5)	A7	
( )	( )	( )	( )	( )	( )	~
( )	( )	( )	( )	( )	( )	

●ダイアトニック・コードの機能、度数に関する問題です。Basic II では、メジャー・キーおよびマイナー・キーのダイアトニック・コードを分析し、それぞれの機能と度数を導き出すことが求められます。

(正解) (1) Key : B<sup>b</sup> major

B <sup>b</sup> maj7	Gm7	Cm7	E <sup>b</sup> maj7	F7	
( I maj7 )	( VI m7 )	( II m7 )	( IV maj7 )	( V7 )	~
( T )	( T )	( S )	( S )	( D )	

(2) Key : G major

Cmaj7	Bm7	Em7	Am7	D7	Gmaj7	
( IV maj7 )	( III m7 )	( VI m7 )	( II m7 )	( V7 )	( I maj7 )	~
( S )	( T )	( T )	( S )	( D )	( T )	

(3) Key : D minor

Dm7	B <sup>b</sup> maj7	Fmaj7	Gm7	Em7( <sup>b</sup> 5)	A7	
( I m7 )	( <sup>b</sup> VI maj7)	( <sup>b</sup> III maj7)	( IV m7 )	( II m7( <sup>b</sup> 5) )	( V7 )	~
( T )	( T (or Sm) )	( T )	( Sm )	( Sm )	( D )	

Ⅲ. 下記の ( ) にあてはまるコード・ネームを入れ、ドミナント・モーションになるようにしなさい。  
 (  はドミナント・モーションを表しています。)

Ⅳ. 下記の ( ) をうめて、トゥー・ファイブを作りなさい。(  はトゥー・ファイブを表しています。)

(1)

(2)

Ⅴ. 下記のコード進行の ( ) 内に適切なセカンダリー・ドミナントのコード・ネームを記入しなさい。

(1) Key : A major

機能	T	Sec.D	S	S	Sec.D	D	
コード	Amaj7	(  )	Dmaj7	Bm7	(  )	E7	~

(2) Key : E<sup>b</sup> major

機能	T	D	Sec.D	T	Sec.D	T	
コード	E <sup>b</sup> maj7	Dm7 <sup>(b5)</sup>	(  )	Cm7	(  )	Gm7	~

●いずれもコード進行に関する問題です。特に重要な進行であるトゥー・ファイブおよびドミナント・モーションについて、元のコードおよび解決先のコードの両方向から正しく見つけ出すことが必要です。セカンダリー・ドミナントについても、解決先のコードへのドミナント・モーションから導き出すことができます。

(正解) Ⅲ. A7、G7、B<sup>b</sup>maj7      Ⅳ. (1) Bm7、Am7 (2) C7、B<sup>b</sup>7      Ⅴ. (1) A7、B7      (2) G7、D7

VI. ( ) 内に正しいモード名（開始音名も明記すること）を記入しなさい。

(1)



( )

(2)



( )

(3)



( )

(4)



( )

(5)



( )

(6)



( )

(7)



( )

●チャーチ・モードについての問題です。これについては『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 3』第10章 III (33ページ~) に詳しく書かれており、「アベイラブル・ノート・スケール」の基本となっているものです。メジャー・スケールの各音を開始音とする7種類の音階について、その名称と音程構成を把握しておきましょう。

- (正解) (1) E<sup>b</sup> リディアン (2) A ロクリアン (3) G エオリアン (4) D フリジアン  
(5) F ミクソリディアン (6) C ドリアン (7) B<sup>b</sup> イオニアン

VII. 下記のメロディーに、左手のパートをつけなさい。

Gmaj7                      Em7                      Am7                      D7

Bm7                      E7                      Am7                      D7                      G6

- 基本的なアレンジの課題です。伴奏形のパターンとコードネームを用いてアレンジすることが求められます。アレンジの内容（ボーシングやリズムパターンの変化など）は自由ですが、必要なコードトーンを配置しているか、音域が適切か、等がポイントになります。

(解答例)

Gmaj7                      Em7                      Am7                      D7

Bm7                      E7                      Am7                      D7                      G6

VIII. 次の文章の（ ）にあてはまる語句、数字、または記号を書き入れなさい。

- (1)  $\flat$ VI $\text{maj}7$ 、 $\flat$ II $\text{maj}7$ のコードは、いずれもコード・トーンに( )の音を含んでいるため、( )の代理コードとなる。
- (2) コード・トーン以外で、コードの上に積み上げて効果的に使用できる9th、11th、13th等の音を、( )という。
- (3) コードのルートが( )度上行、または( )度下行するコード進行を総称して、「モーション・オブ・フィフス」という。
- (4) ( )のコードは、V7の代理コードであり、俗に「裏コード」と呼ばれる。

●楽典や、音楽理論に関する用語の問題です。Basic II では、『セオリー・オブ・ポピュラー&ジャズ 2』と『ピアノ・パフォーマンス 2』の範囲から出題されますので、これらに出てくる用語を覚え、よく理解しておきましょう。

(正解) (1)  $\flat$ VI、サブドミナント・マイナー (2) テンション(・ノート) (3) 完全4、完全5 (4)  $\flat$ II7